



福岡医発第 243 号 (地)

令和 6 年 4 月 17 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会 長 蓮 澤 浩 明

(公 印 省 略)

職場における熱中症予防対策セミナーの開催について

拝啓 貴職ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、職場における熱中症による死亡者数は、昨年は全国で 28 名、4 日以上欠勤する方は 1,000 名超と急増しております。

このような中、厚生労働省では、平成 29 年から労働災害防止団体などと連携して、「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防のための重点的な取組みを進めているところです。(本件については、令和 6 年 3 月 19 日付け福岡医発第 3126 号 (地) 文書においてご連絡済み。)

今般、本取組みの一環として、標記セミナーを開催する旨、福岡労働局より通知がありましたのでご連絡申し上げます。

つきましては、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

(1) 令和 6 年 6 月 4 日 (火) 14:00~15:30

- ・講演内容 「熱中症の予防について」
- ・講 師 垣内 紀亮 氏
ダイハツ九州株式会社 総務人事部
安全衛生推進室主査 産業医
- ・会 場 リファレンス駅東ビル 4 階会議室 G
(福岡市博多区博多駅東 1-16-14)
- ・定 員 70 名

小郡三井医師会より

産業保健担当理事 柳 大三郎
会長 島田昇二郎

(2) 令和6年6月7日(金) 14:30 ~ 16:00

- ・講演内容 「熱中症の予防について」
- ・講師 堀江 正知 氏
産業医科大学 副学長
産業生態科学研究所 産業保健管理学研究室 教授
- ・会場 福岡合同庁舎本館5階 中会議室AB
(福岡市博多区博多駅東2-11-1)
- ・定員 80名

△申込方法 別紙「令和6年度 熱中症予防対策セミナー」の参加申込先に記載の申込先 **URL** 又は申込先 **QR** コードからお申込み下さい。

△問合せ先 福岡労働局 労働基準部 健康課 TEL (092-411-4798)

以上

労働災害防止団体及び事業者団体 殿

福岡労働局長
(公 印 省 略)

職場における熱中症予防対策セミナーの開催について

日頃から労働行政の推進につきまして、格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、熱中症予防対策に関しましては、本年度の「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」の実施にあたり、先月、本キャンペーンのご協力をお願いしたところですが、今般、この取組の一環として、標記セミナーを下記のとおり開催することといたしました。

つきましては、傘下会員事業場に対し、熱中症対策について周知していただくとともに、セミナーへの参加勧奨にご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、セミナーの開催に係る案内資料及びキャンペーンリーフレットを別添のとおり送付しますので、傘下会員事業場への周知等にご活用いただきますよう、併せてお願いいたします。

記

1 開催日時

- ① 令和 6 年 6 月 4 日 (火) 14 時 00 分 ～ 15 時 30 分
- ② 令和 6 年 6 月 7 日 (金) 14 時 30 分 ～ 16 時 00 分

2 会 場

- ① リファレンス駅東ビル 4 階会議室 G (福岡市博多区博多駅東 1 丁目 16 番 14 号)
- ② 福岡合同庁舎本館 5 階 中会議室 A B (福岡市博多区博多駅東 2 丁目 11 番 1 号)

3 講 演 (予定)

- ① 演題：「熱中症の予防について」

講師 垣内 紀亮 氏
ダイハツ九州株式会社 総務人事部
安全衛生推進室主査 産業医

- ② 演題：「熱中症の予防について」

講師 堀江 正知 氏
産業医科大学 副学長
産業生態科学研究所 (産業保健管理学研究室) 教授

4 問合せ先

福岡労働局 労働基準部 健康課
担当：佐野 電話 (092) 411-4798



STOP! 熱中症

令和6年5月～9月

クールワークキャンペーン

— 熱中症予防対策の徹底を図りましょう —

平成26年から令和5年までの10年間、職場での熱中症により県内で7人が亡くなっており、300人以上が4日以上仕事を休んでいます。

●実施期間：令和6年5月1日から9月30日まで（準備期間令和6年4月、重点取組期間令和6年7月）



「熱中症」とは高温多湿な環境下で体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして発症する障害を総称した疾病で、重篤な場合死に至る恐ろしい疾病です。

福岡県下の熱中症の発生状況の推移（平成26年～令和5年）

26年	27年	28年	29年	30年	31年(元年)	2年	3年	4年	5年
9	13 (1)	30 (2)	42	64	30 (1)	27 (1)	15	44 (1)	32 (1)

熱中症による休業4日以上死傷者数（人）の推移（ ）内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数

熱中症を防ぐには、自分の体調を管理することはもちろんのこと、働く環境がどういう状態なのかを確認する必要があり、その環境に順化することが重要です。

環境の確認に有効な手段が暑さ指数（WBGT値）の活用です。

WBGT値の計算は大変ですが、WBGT測定器を使うと簡単に暑さ指数を計測できます。

WBGT測定器を活用して 熱中症を予防しましょう！



測定器は（JIS B 7922）に適合したものを準備しましょう。

※WBGT値は毎日環境省が、

「環境省熱中症予防情報サイト」の中で（WBGT）暑さ指数を公表しています。詳しくは、<http://www.wbgt.env.go.jp/> を参照ください。

WBGT値はあくまで働く環境の状態を示すものです、労働者自身の体調は熱中症の発症に大きくかかわってきます。

深酒や睡眠不足を避け、体調不良の時は躊躇せず、上司や同僚に報告しておきましょう。

重要

異常時の措置

～少しでも異変を感じたら～

- ・いったん作業を離れる
- ・病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
- ・病院へ運ぶまでは一人きりにしない



休憩！



厚生労働省・福岡労働局・労働基準監督署

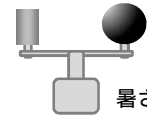
（R6.4）

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP
1

☐ 暑さ指数（WBGT値）の把握

JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を測りましょう。



暑さ指数計の例

STEP
2

準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定した暑さ指数に応じて次の対策を取りましょう。

☐ 暑さ指数を下げるための設備の設置			
☐ 休憩場所の整備			
☐ 涼しい服装など			
☐ 作業時間の短縮	暑さ指数が高いときは、 単独作業を控え 、暑さ指数に応じて 作業の中止 、 こまめに休憩をとる などの工夫をしましょう。		
☐ 熱への順化	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩を取り 、 1週間程度かけて徐々に身体を慣ら しましょう（新規入職者・休み明け労働者は特に注意が必要です）。		
☐ 水分・塩分の摂取	水分・塩分を携行し、 定期的に水分等 を摂取しましょう。		
☐ 健康診断結果に基づく措置	糖尿病、高血圧症、心疾患、腎不全、精神・神経関係の疾患、広範囲の皮膚疾患、感冒、下痢 などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。		
☐ 日常の健康管理など	前日の飲みすぎはないか、寝不足ではないか、当日は朝食をきちんと取ったか、管理者は確認しましょう。熱中症の具体的症状について説明し、早く気付くことができるようにしましょう。		
☐ 労働者の健康状態の確認	作業は相方を組ませる等複数人体制をとり、管理者だけでなく、作業員同士でもお互いの健康状態をよく確認しましょう。		

STEP
3

熱中症予防管理者は、暑さ指数を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

- ☐ 暑さ指数の低減対策は実施されているか
- ☐ 各労働者が暑さに慣れているか
- ☐ 各労働者は水分や塩分をきちんと取っているか
- ☐ 各労働者の体調は問題ないか
- ☐ 作業の中止や中断をさせなくてよいか

☐ 異常時の措置

～少しでも異変を感じたら～

- ・一旦作業を離れる
- ・病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
- ・病院へ運ぶまでは一人きりにしない

重点取組期間（7月1日～7月31日）

- ☐ 暑さ指数の低減効果を改めて確認し、必要に応じ対策を追加
- ☐ 暑さ指数に応じた作業の中断等の徹底
- ☐ 水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底
- ☐ 作業開始前の健康状態の確認を徹底
- ☐ 熱中症のリスクが高まっていることを含め教育を実施
- ☐ **体調不良の者に異常を認めたときは、躊躇することなく、救急隊を要請**



令和6年度 熱中症予防対策セミナー

主催：福岡労働局・建設業労働災害防止協会・福岡産業保健総合支援センター

「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」～職場における熱中症死亡ゼロを目指して～
職場における熱中症により4日以上仕事を休む人は、400～500人台で推移していましたが、昨年は死亡が28名、4日以上休業が1,000名超と急増しております。

厚生労働省では、労働災害防止団体などとの連携の下、職場における熱中症の予防のため「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、重点的な取組を進めています。
各事業場においては、事業者、労働者が協力して、熱中症予防への取組を進めましょう！
福岡労働局では、建設業労働災害防止協会（建災防）・福岡産業保健総合支援センターと共催で、熱中症予防のためのセミナーを開催いたします。

会場・日時

- 日時 **令和6年6月4日（火）**
14：00 ～ 15：30
- 会場 福岡市博多区博多駅東1丁目16番14号
リファレンス駅東 4階会議室G
- 定員 70名

無料

講演

- 内容 「熱中症の予防」
熱中症のメカニズムと予防対策を説明します。
- 講師 垣内 紀亮 氏
(ダイハツ九州株式会社総務人事部
安全衛生推進室主査 産業医)

申込み

- 下記受付サイトから、お申し込みください。
定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 会場までの交通に係る費用は参加者にてご負担願います。

熱中症予防対策セミナー 参加申込先

労働局・労働基準監督署説明会等受付サイト

受付期間 4月15日（月）～ 5月28日（火）

申込先二次元コード



若しくは

説明会 労働局
で 検索

URL : <https://www.roudoukyoku-setsumeikai.mhlw.go.jp/>

(申し込み・お問い合わせ)

福岡労働局 労働基準部 健康課

所在地 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号

電話番号 092-411-4798

熱中症防止のための健康管理自主点検票

熱中症予防のためには、的確な熱中症予防対策を講じることが大切です。点検確認していただいた事項で、対応が十分にできていないと思われる項目がある場合には、改善を含めた対応策を検討され実施するようにしてください。

点検事項		点 検 欄		留 意 事 項
管理体制	熱中症対策の内容を労働者に周知していますか	はい	いいえ	熱中症対策を作成して実施するものですが、効果を上げるためには、責任者が実施状況を日々確認していくことが重要です。
	熱中症対策の責任者を選任していますか	はい	いいえ	
	責任者、管理者は定期的に熱中症防止の巡視をしていますか	はい	いいえ	
作業環境管理	熱中症暑さ指標計、温度計、湿度計などにより測定を随時行っていますか	はい	いいえ	熱中症の発生の危険を見極めるためには、天候の条件を把握して備えることが重要です。危険が高まれば、水分等の補給ができるようにして、休憩室等で涼めるようにしておくことが必要です。
	作業場所の近隣に涼しい休憩場所を確保していますか	はい	いいえ	
	水分、塩分等が補給できるようにしていますか	はい	いいえ	
作業管理	身体作業強度が高い作業を避けるために、連続作業時間の短縮をしていますか	はい	いいえ	十分な休憩時間の確保、暑さになれない者に対する配慮、強制的な水分補給、屋外などの作業では帽子などに工夫が必要です。
	暑さに慣れるために、熱への順化期間を設けていますか	はい	いいえ	
	水分、塩分等を定期的に摂取させていますか	はい	いいえ	
	透湿性及び通気性の良い服装を着用していますか	はい	いいえ	
健康管理	睡眠不足、体調不良、前日の飲酒などの影響を把握していますか	はい	いいえ	労働者の毎日の体調管理が大事になります。
	糖尿病、高血圧等の関係の深い定期健康診断項目に所見のある者のその日の健康状態を確認していますか	はい	いいえ	
教育	労働者に対して、熱中症予防に対する教育を行っていますか	はい	いいえ	熱中症に対する知識を備えることが必要です。
救急処理	熱中症の災害が発生した場合の緊急連絡体制を整備していますか	はい	いいえ	万が一の災害発生の場合には、迅速で的確な対応ができれば、重大な事態を避けることにつながります。
	熱中症を疑う症状が現れた場合の救急措置ができるようにしていますか	はい	いいえ	

令和6年度 熱中症予防対策セミナー

主催：福岡労働局・福岡産業保健総合支援センター

「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」～職場における熱中症死亡ゼロを目指して～
職場における熱中症で亡くなる人は、毎年全国で10人以上、4日以上仕事を休む人は、400～500人台で推移しています。
厚生労働省では、労働災害防止団体などとの連携の下、職場における熱中症の予防のため「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、重点的な取組を進めています。
各事業場においては、事業者、労働者が協力して、熱中症予防への取組を進めましょう！
福岡労働局では、福岡産業保健総合支援センターと共催で、熱中症予防のためのセミナーを開催いたします。

会場・日時

- 日時 **令和6年6月7日（金）**
14：30 ～ 16：00
- 会場 福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号
福岡合同庁舎**本館5階** 中会議室A・B
- 定員 80名

無料

講演

- 内容 「熱中症の予防」
熱中症のメカニズムと予防対策を説明します。
- 講師 堀江 正知 氏
(産業医科大学 副学長 産業生態科学研究所
(産業保健管理学研究室) 教授)

申込み

- 下記受付サイトから、お申し込みください。
定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 駐車場（受講時間中は無料）がございますが、収容台数に限りがございます。満車の場合は近隣の有料駐車場を利用願います。
- 会場までの交通に係る費用は参加者にてご負担願います。

熱中症予防対策セミナー 参加申込先
労働局・労働基準監督署説明会等受付サイト

受付期間 4月15日（月）～5月31日（金）

申込先二次元コード



若しくは

説明会 労働局

で 検索

URL : <https://www.roudoukyoku-setsumeikai.mhlw.go.jp/>

(申し込み・お問い合わせ)

福岡労働局 労働基準部 健康課

所在地 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号

電話番号 092-411-4798

熱中症防止のための健康管理自主点検票

熱中症予防のためには、的確な熱中症予防対策を講じることが大切です。点検確認していただいた事項で、対応が十分にできていないと思われる項目がある場合には、改善を含めた対応策を検討され実施するようにしてください。

点検事項		点 検 欄		留 意 事 項
管理体制	熱中症対策の内容を労働者に周知していますか	はい	いいえ	熱中症対策を作成して実施するものですが、効果を上げるためには、責任者が実施状況を日々確認していくことが重要です。
	熱中症対策の責任者を選任していますか	はい	いいえ	
	責任者、管理者は定期的に熱中症防止の巡視をしていますか	はい	いいえ	
作業環境管理	熱中症暑さ指標計、温度計、湿度計などにより測定を随時行っていますか	はい	いいえ	熱中症の発生の危険を見極めるためには、天候の条件を把握して備えることが重要です。危険が高まれば、水分等の補給ができるようにして、休憩室等で涼めるようにしておくことが必要です。
	作業場所の近隣に涼しい休憩場所を確保していますか	はい	いいえ	
	水分、塩分等が補給できるようにしていますか	はい	いいえ	
作業管理	身体作業強度が高い作業を避けるために、連続作業時間の短縮をしていますか	はい	いいえ	十分な休憩時間の確保、暑さになれない者に対する配慮、強制的な水分補給、屋外などの作業では帽子などに工夫が必要です。
	暑さに慣れるために、熱への順化期間を設けていますか	はい	いいえ	
	水分、塩分等を定期的に摂取させていますか	はい	いいえ	
	透湿性及び通気性の良い服装を着用していますか	はい	いいえ	
健康管理	睡眠不足、体調不良、前日の飲酒などの影響を把握していますか	はい	いいえ	労働者の毎日の体調管理が大事になります。
	糖尿病、高血圧等の関係の深い定期健康診断項目に所見のある者のその日の健康状態を確認していますか	はい	いいえ	
教育	労働者に対して、熱中症予防に対する教育を行っていますか	はい	いいえ	熱中症に対する知識を備えることが必要です。
救急処理	熱中症の災害が発生した場合の緊急連絡体制を整備していますか	はい	いいえ	万が一の災害発生の場合には、迅速で的確な対応ができれば、重大な事態を避けることにつながります。
	熱中症を疑う症状が現れた場合の救急措置ができるようにしていますか	はい	いいえ	